かがわ大会 記念クロストーク

環境と建築、そして瀬戸内海建築憲章

瀬戸内海建築憲章

瀬戸内海の環境を守り　瀬戸内海を構成する
地域での環境と人間とのかかわりを
理解し　媒介としての建築を大切にする。

人間を大切にすることから　建築を生み出し
創り出すことを始める。
それには　瀬戸内海の自然と環境を大切にし
そこから建築を生み出すことにある。
環境と建築とが遊離し建築が一人歩きすることはない。

先人たちのつくった文明を見究め　これを理解し
将来への飛躍のための基盤とし　足がかりとする。

過去および現代において
瀬戸内海が日本人のための文化の母体であったことを
知るとともに　それが世界に開けた門戸でもあった
ことを確認する。
すなわちわれわれは　この地域での文明を守り
それを打ち出していくことと併せて
広く世界へ目を開き
建築を通じて人類に貢献する。

山本忠司、浦辺鎮太郎、松村正恒、神代雄一郎「風声」一九八〇年より



瀬戸内海歴史民俗資料館
写真提供：香川県



多田 善昭



SANAA［西沢 立衛・妹島 和世］

クロストーク出演者プロフィール

［SANAA］妹島和世と西沢立衛による建築家ユニット。1995年東京にて設立。2004年ヴェネチアビエンナーレ国際建築展金獅子賞、2010年プリツカー賞、2022年高松宮殿下世界文化賞建築部門、2025年王立英国建築家協会ロイヤル・ゴールド・メダルなど数多くの賞を受賞。主な作品に、金沢21世紀美術館、ニューミュージアム（アメリカ）、Rolexラーニングセンター（スイス）、ルーヴル・ランス（フランス）、グレイス・ファームズ（アメリカ）、ラ・サマリテーヌ（フランス）直島港ターミナル（香川県）、ボッコーニ大学新キャンパス（イタリア）、シドニー・モダン・プロジェクト（オーストラリア）、香川県立アリーナ（あなぶきアリーナ香川）、TaichungGreenMuseumbrary（台湾）など。

妹島 和世（せじま・かずよ）／ 1956年生まれ。1981年日本女子大学大学院修了。1987年妹島和世建築設計事務所設立。1995年西沢立衛とSANAA 設立。現在、東京都庭園美術館館長、日本女子大学特別招聘教授、ミラノ工科大学 教授、横浜国立大学名誉教授 。主な作品に再春館製薬所女子寮、梅林の家、犬島「家プロジェクト」すみだ北斎美術館、日本女子大学目白キャンパスがある。

西沢 立衛（にしざわ・りゅうえ）／1966年生まれ。1990年横浜国立大学大学院修了。妹島和世建築設計事務所を経て1995年妹島和世と SANAA 設立。1997年西沢立衛建築設計事務所設立。現在、横浜国立大学大学院Y-GSA教授。主な作品に森山邸、House A、十和田市現代美術館、豊島美術館軽井沢千住博美術館がある。

多田善昭（ただ・よしあき）／1950年香川県善通寺市生まれ。1973年近畿大学理工学部建築学科卒業。齋藤孝建築設計事務所を経て、1983年多田善昭建築設計事務所を設立。1998年～2000年に日本建築学会四国支部長を拝命。近畿大学、早稲田大学香川大学大学院などで非常勤師を歴任。公共建築や住宅の設計監理の他歴史的建造物の調査、保存活用に関わる。主な委員会歴に旧善通寺偕行社整備検討委員会、香川県近代和風建築総合調査委員会、香川県庁舎東館保存耐震化検討会議、本山寺五重塔整備委員会などがある。

2027
10.29 Fri
13:00~14:40

会場

あなぶきアリーナ香川
（香川県立アリーナ）

〒760-0019 香川県高松市サンポート6-11

大会事務局　（一社）香川県建築士会
〒760-0018 香川県高松市天神前 6-34 村瀬ビル 2F
TEL：087-833-5377　FAX：087-833-5394

歴史と未来をつなぐ
建築のかけ橋
日本一小さい県から



第69回 建築士会全国大会
かがわ大会

2027.10.29 Fri

会場
あなぶきアリーナ香川
（香川県立アリーナ）
〒760-0019 香川県高松市サンポート 6-11

Kagawa Convention 2027
Japan Federation of Architects & Building Engineers Associations

主催：公益社団法人 日本建築士会連合会　共催：建築士会中国四国ブロック会　主管：一般社団法人 香川県建築士会